

..... 編集後記

◆ 有珠火山の噴火が報じられる中で、あわただしく新年度を迎えています。この間、自転車操業のような編集状況を何とか好転すべく、編集委員・事務局ともに努力をしてみいました。3月号を何とか3月中に発行することができましたが、もとより本誌は毎月初めの日付で発行されていますので、まだまだ遅れているわけです。本年度は当月号を当月上旬には印刷、発行したいと念願しています。順調な編集・発行体制を維持していくために、どうぞ多くの皆さまのご寄稿をお願いいたします。

◆ 今月号の表紙には、その有珠火山の噴火の写真を使いました。3月28日朝のラジオで、北海道有珠山の地震活動が前日から活発化しているというニュースが流れ、その後、気象庁の臨時火山情報を受け、地質調査所から3名の研究員を現地に派遣しました。一両日中に噴火活動が起こりうるという見方が報じられるなか、3月31日午後1時過ぎ、予想どおり23年ぶりの噴火が起こりました。現地を調査中の、火山地質研究室川邊さん提供の写真です。

◆ 中部地質情報展の誌上再現・紹介記事は、当初、2月、3月の2号にまたがると予告してありましたが、とうとう3号にわたってしまうことになりました。担当者の皆さんの熱意にあらためてお礼申し上げます。また、2月号の記事をご覧になって、早速、「有意義である」という激励のお言葉を下さった読者の方がおられました。ありがとうございます。

◆ 今年の夏は、高校生のサイエンスキャンプに続いて、

高校の先生方向けにティーチャーズサイエンスキャンプが開催され、徳橋さんには両方の企画の立案、実行をすっかりお願いいたしました。本号では、1月号に続いて、徳橋さんの奮戦の記をお届けいたします。

◆ ゴールドシュミットの伝記(その3)は第4章、第5章です。第一次世界大戦中、ノルウェー政府が国内の鉱物資源研究促進のために設立した産業原料研究所におけるゴールドシュミットの仕事ぶり、原子番号72番の元素の発見にまつわるエピソードなどが描かれています。

◆ 以上のほか本号では、須藤さん・神谷さんによる砥部陶石の記事、川幡さん他によるGCMAPSプログラムの紹介記事、吉田さんの地学フォト巡検記、高木さん・水野さんによる地質図幅紹介記事など、盛り沢山のメニューが並んでいます。お楽しみ下さい。(湯浅真人)

地質ニュース3月号の中部地質情報展特集の中で、校正ミスによる誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

- 1, p.52の写真2説明文の後半が切れてしまいました。正しくは、「・・・このサンプルでは243℃で完全に消滅しました。」です。
- 2, p.59の第2図の2枚の写真が左右入れ違い、かつそれぞれ上下逆さです。

今後はこのようなことのないよう、いっそう気をつけて編集を行っていきたくと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・前川竜男・木下泰正・
中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(河村幸男・渡辺光次)

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

地質調査所 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-61-3520

Fax. 0298-61-3569

地質ニュース	第548号	2000年	4月号
	定価¥785(本体価格¥748)	〒実費	
2000年4月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951(代表)		
	Fax. (03) 3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

©2000 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ